

● 専攻科課程

① ディプロマポリシー（修了の認定に関する方針）

目標とする人材像

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する技術者を養成することを目的とする。

上記の目標とする人材像と各専攻の人材養成上の目的に即して、自ら問題を見つけ解決することができるよう主体的学習に取組み、以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

1. 理工学分野における、より専門性の高い知識・技術力
2. エンジニアリングデザインの基盤となる能力、チームワーク力
3. グローバル化への高い対応能力

上記に加え、各専攻において身につけるべき能力を以下に示します。

専攻名	身につけるべき能力
生産環境システム専攻	機械・電子制御、生産システムまたは土木・都市環境に関連するより深い専門知識・技術力および知能機械装置、製造システム、社会基盤の整備等の幅広い分野に柔軟に対応できる能力
電気情報システム専攻	エレクトロニクス、情報通信、電力に関連するより深い専門知識・技術力および電気電子機器、電子デバイス、電子通信システム、計算機・情報システム等の幅広い分野に柔軟に対応できる能力

② カリキュラムポリシー（教育課程の編成および実施に関する方針）

ディプロマポリシーを達成するために、以下のカリキュラムポリシーに則り、教育課程を編成します。

1. より専門性の高い知識・技術内容の修得を目的として、理工学分野の科目を設定します。
2. 設計、開発における具体的な体験・学習を目的として、学外での実習等の関連科目を設定します。
3. 学際的素養が身につくよう国際社会に通用する外国語、歴史、技術者倫理等の科目を設定します。

上記ポリシーに加え、各専攻のポリシーを以下に示します。

専攻名	ポリシー
生産環境システム専攻	より高度な幅広い技術内容を修得するために、生産・建設システム関連科目、材料・設計関連科目およびエネルギー・環境システム関連科目を設定します。
電気情報システム専攻	より高度な幅広い技術内容を修得するために、電気・情報・生産システム関連科目およびエネルギー関連科目を設定します。

上記により設定される各科目における達成度評価は、試験、課題等を考慮して、科目担当教員が 100 点満点によって評価します。評価項目、評価割合はそれぞれのシラバスに記載します。

③ アドミッションポリシー（入学者の受入れに関する方針）※

※ 生産環境システム専攻、電気情報システム専攻 共通

本校専攻科は、入学者として次のような人を広く求めます。

- 1. 技術、科学及び語学の素養のある人
- 2. 幅広い知識・技術の習得に意欲のある人
- 3. 先導的技術者として産業界で活躍し、社会的に貢献する意思のある人

上記の専攻科が求める人材を受け入れるため、以下の選抜を行います。

（1） 推薦選抜

出身高等専門学校の長が学業成績及び人物ともに優れていると認め推薦し、専攻科が入学者として求める人材像に適合する者を、面接及び調査書を総合して選抜します。

（2） 学力選抜

専攻科が入学者として求める人材像に適合する者を、学力試験（数学、英語能力）、面接及び調査書を総合して選抜します。

（3） 社会人特別選抜

企業等に在籍し、所属長が推薦する者のうち、専攻科が入学者として求める人材像に適合する者を、面接及び調査書を総合して選抜します。